医療的ケア指示書

_ (孝	教育・	保育施設名	1)		様							
								<u>令和</u>		年	月	日
貴施	設にお	ける対象!	児童への医療的ケ	アの実施に	こついて	て、次の	のとおり	り指示し	ます。			
			指示期	間:令和	年	月	□ ~	~ 令和	年	月	□(′	1年以内)
対象以	児童氏?	名					生年	月日 台	う和 :	年月		歳
主たる	る疾患	名										
アレル	ルギー											
禁忌薬	薬											
※該当の指示内容に✔(チェック)・数値等を記入してください。												
実施行為の種類			□□腔内の喀痰吸	引 口鼻	上腔内の	喀痰吸	31	□気管力	ニュー	レ内部	『の喀痰』	33I
			□経管栄養(経鼻	胃管) 口胃	ろうに	よる経	管栄養	口腸ろう	による	経管栄	養	
		□鼻、□ス	からの吸引									
		吸引カテ	ーテルのサイズ() Fr.	吸引圧	() kPa	a 程度ま	C			
		鼻からの	挿入の長さ() cm	ロから	うの挿え	入の長さ	() cm			
		注意点なる	ど ()	
		※持続[吸引について 吸引	lカテーテル	のサイ	ズ()	Fr. 吸引	別圧()	кРа	
		部位		l) 挿入σ)長さ()	cm 注意	意点など	[)
	喀痰	□気管力:	ニューレからの吸引	(または気	〔 管内吸	:31)						
		吸引カテ	ーテルのサイズ() Fr.								
		カニュー	レ入口からの挿入の)長さ() cr	n						
		吸引圧	カニューレ内()kPa和	呈度まて	-						
		注意点なる	<u>ا</u> ()
具		□経鼻エ	アウェイからの吸引	吸引カテ	ーテル	のサイ	ズ() Fr	•			
具体的指)kPa 程度記	まで エアグ	フェイカ	らの吸	図カテ [、]	ーテル挿	入長さ	() cm	
指示		注意点なる)		
示内容			鼻腔留置チューブ	サイズ()	Fr. 挿	入長さ	()	cm [] 胃ろ 	う ロ	腸ろう
		□栄養剤浴										
			(:) (
		内容(,									
	□経管栄養		が()ml未済					人する				
			が () ml以上									
			が()ml以上 スに思学がまる(特									
			色に異常がある(複				. ()			
			. 胃残の性状に異常	びかめる場合	507XJVU						`	
			n)	
		口水分注 <i>。</i> 宝饰時間	^ (:) ()							
		美施時间 内容(·┐□±₽⋿	1 (
1		/ 台 似	ノー凹重		1111 注	こくらは) (/ 刀性皮				

□胃残量が()ml 未満のときは そのまま予定量を注入する											
口胃残量が()ml 以上()ml 未満の時()											
		□胃歿	遺が()ml以上のとき()							
	口胃残の色に異常がある(褐色・黄色・緑色)場合は()										
		ロその	その他、胃残の性状に異常がある場合の対応								
		()								
		□薬剤	注入 実施時間 (:)	注意点など〔)					
		口胃カ	いらの脱気								
	脱気のタイミング 口注入前 口注入中 口注入後 口その他 (:) (:										
			□気管切開部の衛生管理 □胃ろ	う・腸ろう部の衛生管理							
			口経鼻エアウェイの管理 口導尿 口薬液吸入								
実施征	テ為の種	類	□日常的酸素管理 □呼吸補助装置の管理								
			口人工呼吸器の作動状況の確認及	び緊急時の連絡等							
			口血糖値測定とその後の処理								
			□単純気管切開 □咽頭気管分離	□その他 ()							
		_ i気	□肉芽について □ 有 □ 無								
		管	ロカニューレの種類()内径()mm								
		切 開	入口から先端までの長さ()cm								
		部	カニューレ抜去時や、気管切開部・気管内出血への対応など								
	の		(J						
			①ボタン・チューブの種類() サイズ () Fr. () cm	挿入						
	部胃 のろ		バルンの水の量()ml Yガーゼ ロ 有 ロ 無								
		i ō	①ボタン・チューブの種類 () サイズ () Fr. () cm 挿入								
	生・ 管腸 理ろ う		バルンの水の量()ml Y t	ブーゼ 口有口無							
			チューブ抜去時の対応など〔)							
具体											
的		コ 径	□挿入•抜去	挿入長さ()cm							
指示		草		エアウェイの種類(
内	-	L		内径()mm							
容		ア		注意点など〔)						
		I 1	□管理	注意点など〔	J						
			実施時間 (:)(:)(:)							
			カテーテルの種類()サイズ()Fr.								
			尿道に挿入する長さ()cm								
		尊 永	用手圧迫 (□ 可 □ 不可)								
	,	٠,	その場合の圧迫の強さの程度 口強口中口弱								
			注意点など〔	J							
			実施時間(:)(:)							
	薬定 液時 吸の		吸入薬内容/量 ()を() ml ()を() l	ml						
			注意点など〔								
	入										

	□ ##\□	経路 口気管切開部 口鼻カヌラ ロマスク								
	酸日 素常 管的	酸素流量()L/分 SPC	02 () %以下の!	場合() L/分				
			SPO	02 () %以下の場	易合 () L/分				
	理 	注意点など〔)				
		自発呼吸(口 有	与口無)							
		普段の装着時間 口24 時間 口定時 (:)~ (:)								
		使用機種		呼気圧		cml	H20			
		換気様式	口従量式	PEEP		cml	H20			
	□□		口従圧式							
	工吸	呼吸モード	□CPAP □IM\	/ DSIMV DASSIST	Γ					
	呼補 吸助		□BiPAP (□S	モード ロS/Tモード	: ロTモード	:)				
	器装		口その他()						
	の置	トリガー感度	cmH20 •	最高気道内圧		cml	H20			
	作の 動管		()							
	状況の確認及び緊急時の連絡等理	02 流量・	L/分	最低気道内圧		cml	H20			
		FiO2	%				///			
		吸気流量	L/分	最大分時換気量		L	_/分			
		吸気時間	秒	最小分時換気量		L	_/分			
		吸気呼気比	:	吸気圧低下アラーム		cml	H20			
		呼吸回数	回/分	酸素併用	口有(L/分)	□無			
		吸気圧	cmH20	加温•加湿器	口有(℃)				
			hPa		(ダイフ	アル)			
					口無					
		1 回換気量	ml		オート機能					
						□無 · · · · · · · - - · · · · ·				
		本人の状態及び呼吸器の作動状況においての注意点、起こりやすいトラブルと対処方法								
		測定時間(測定時間(:)(:)							
	測血 定糖	対処方法 詳細は別添にて指示								
	等値									
	☑ 別紙あり									

<u>医療機関名 </u>
--

※本指示書の内容について確認するときの連絡方法について御指示ください。

□医師に直接	□担	当者(様)	経由
□電話			
□FAX			
□e-mail		@	